

雪洞

糸魚川勤労者山岳会

会長 青木 満 磨

TEL 025-552-9901



(2151)No.101 発行 2020年3月14日



山行記

★山域・山名＝長野/生坂村・京ヶ倉 990m、大城 980m

★山行日＝3月7日(日)

★天 候＝晴れ

★山行者＝内山、大瀬、渡辺久、渡辺悦(報告)

▼京ヶ倉の写真は会報・雪洞No.100で紹介しました。

▼マックスバリュ-P6時30分に出発。天候は晴れの予報(^^♪。生坂村に入って、京ヶ倉登山口を目指してくねくね坂を登っていると、1頭の日本鹿が道の真ん中……。車を止めて見ていたら、次々と鹿が現れた。全部で5頭もいて、鹿も驚いたと思うが、私達も驚いた♡

▼京ヶ倉万平登山口から登り始める。急登で細い登山道。「崩れるので山側を歩いてください」と書かれた看板が立ててある。試しに道の端をストックでつつくと、ポロポロと崩れた♡気を付けながら登っていると、眼下にブルーに染まった犀川が見えるようになり、思わず「ワーッ♡」と感嘆の声を上げた。

▼その後も、相変わらず細くもろい登山道が続いたが、「お

おこば展望台」に着くと、蝶ヶ岳、常念岳、大天井岳等、北アルプスが目に飛び込んで来た。しかも妙高山、焼山も見える♡眼下には、「生坂ダム」や満々と水をたたえ、曲がりくねって流れる様子は美しく雄大でした。晴れの日の山登り、最高裁判所♡

▼景色を楽しんだ後も、相変わらずの細い登山道だ。山頂付近は切り立った尾根道で、馬の背があり、しかも背には背骨風の突起もある♡両側は僅かだが下に傾斜しているしギョッ♡♡足元と前をしっかりと見て必死になって進んだ♡

▼10時20分、山頂に到着。ここからの眺めも素晴らしい。見た目にも恐ろしくそびえ立っている大城には「行きたくない！」とごねたが、男衆に

まるめ込まれて行くことに決めしたが、ロープは有るが滑り落ちそうで、尻込みをしている私にUさんが先に下って手本を見せてくれたので、無事に下りる事が出来ました。大城ではほんの少し景色を見て、京ヶ倉山頂まで戻って景色を見ながらゆっくりと昼食を楽しみました。

▼下山の途中でリス2匹発見。かわいさに癒されつつ、無事下山しました。標高990mの里山ですが、変化に富んだスリリングで楽しい京ヶ倉登山でした。

▼タイム＝マックスバリュ-P 6:30…京ヶ倉登山口 8:45…京ヶ倉 10:20…大城 10:50…11:30 京ヶ倉 12:30…13:45 京ヶ倉登山口…温泉入浴…16:30 マックスバリュ

《報告 by 渡辺悦》





前烏帽子岳山頂にて 奥は阿弥陀山、烏帽子岳 2/24



戸倉山山頂にて 右奥は北アルプス 3/7



新田山から下山を前に 頸城山塊を眺める 3/9



新田山へ向かう 奥は阿弥陀山、烏帽子岳 3/9



山梨・竜ヶ岳からの 絶景富士山 3/6

烏帽子岳



とや展望台は近い 少ない雪の中を登る 3/12



展望のよいとや展望台で 早めのランチタイム 3/12